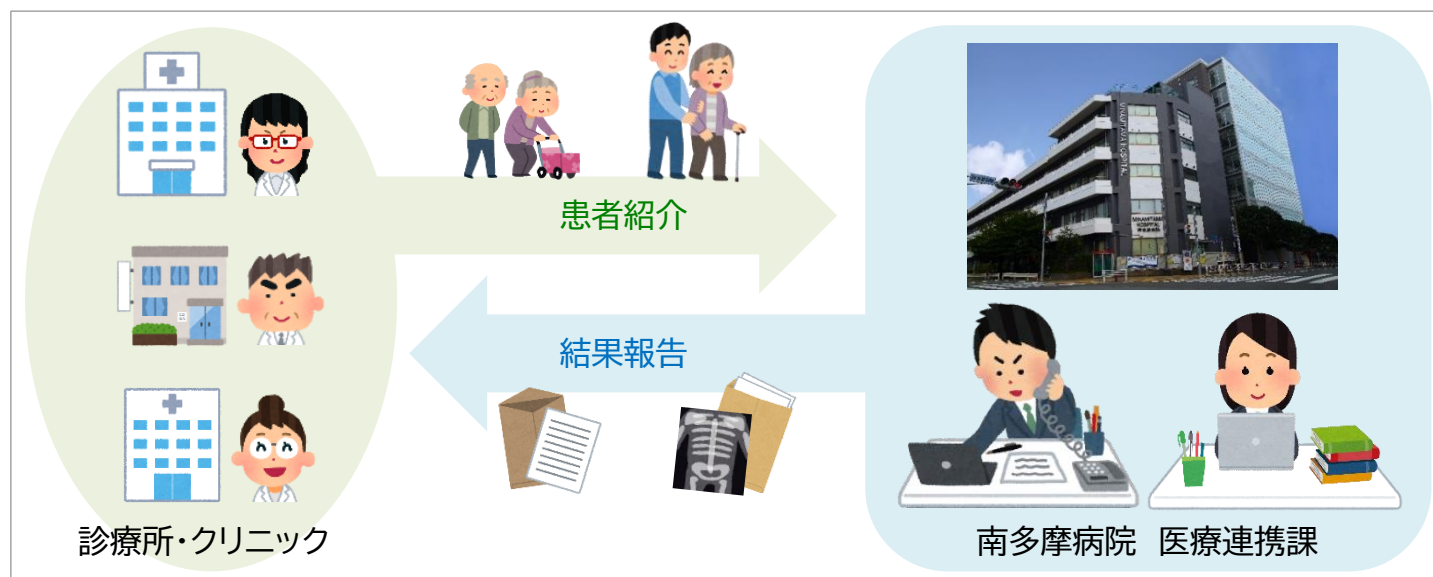




医療連携の役割

医療連携課

南多摩病院には「医療連携課」という渉外を担当している部署があります。当院には通常の受診や入院、救急で来院される患者様のほかに、診療所やクリニックの先生からの紹介で受診される患者様・検査の予約をとられる患者様がたくさんいらっしゃいます。紹介いただいた患者様が、安心してかかりつけの診療所やクリニックに戻り継続して診療を受けていただけるよう、受診結果や検査結果の報告を行ない、情報共有をしています。そして、診療所やクリニックの先生よりお問い合わせをいただく場合や、報告が必要な場合の窓口となっており、急ぎでお届けした方がよい検査報告などは直接お伺いして手渡ししています。



当院の外来担当医情報や新しくできるようになった検査のご案内なども、定期的に診療所やクリニックへ伺い説明させていただいております。また、当院をかかりつけの患者様が他院へ緊急入院された時などは、今まで行なった治療経過や検査結果等を提供し、その医療機関でも安心して治療が行なえるよう対応しております。



当院では診療所・クリニックの先生方との顔が見える連携を大切にしております。新型コロナウイルスの影響で、対面で話をすることが少なくなりましたが、これまでの連携の実績に加え、今後も状況を鑑みて訪問活動を再開していく予定です。



かかりつけ医からの紹介で、はじめて南多摩病院に来院される患者様は不安なことも多いかと思いますが、皆様に安心してお越しいただけますよう今後も活動してまいります。



医療法人社団 永生会



南多摩病院広報誌

令和4年5月第34号

みなみ じゅう し せい
南 十 字 星

発行・編集 / 南多摩病院 広報誌作成委員会 042-663-0111 (代表)

〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1



乳がん検診の受け方

放射線科 岡田 良行 医師

はじめに

日本人女性の乳がん罹患数は増加傾向を示しており、女性のがんの中では最も多くなっています。自覚症状としては乳房のしこり、痛み、乳頭分泌などがありますが、40歳を過ぎた自覚症状のない女性でも2年に1回の乳がん検診を受けることが勧められており、40歳以降では市検診のお知らせが届くようになっています。

乳がん検診では何をするのでしょうか？

乳がん検診の項目としては、乳腺レントゲン撮影（以下マンモグラフィーとします）、触診、乳腺超音波検査があります。そのなかでもマンモグラフィーは必須の検査となっています。

マンモグラフィーは乳房専用のX線撮影装置で、乳房を板で圧迫し薄く引き伸ばすようにして乳腺の中の異常を明瞭に描出するように撮影を行います。若干の痛みを伴うこともありますが、当院ではマンモグラフィーはすべて女性の放射線技師が担当していますので、安心して検査を受けることができます。

触診は基本的に乳がん専門医によるもので、問診や視診、マンモグラフィー等の画像診断を含めて総合的に判断します。

乳腺超音波検査は断層画像により直接腫瘍を描出できる利点がありますが、乳がん検診においては腫瘍の微細な石灰化像の描出（良性と悪性の判断に重要とされています）が難しく、現状ではマンモグラフィーの補助的位置にあるとされています。

マンモグラフィー



触診では見つけることができない小さなしこりや、早期乳がんのサインである、ごく小さな石灰化を鮮明に写し出せることが大きな特徴です。

触診、問診、視診



乳がん専門医が直接乳房に触れてしこりの有無を確認します。問診や視診、画像診断を含めて総合的に判断します。

乳腺超音波検査



マンモグラフィーでは正確な診断をしづらい30代以下の検査に有用です。被ばくの心配がないので妊娠中の方でも安心して検査できます。

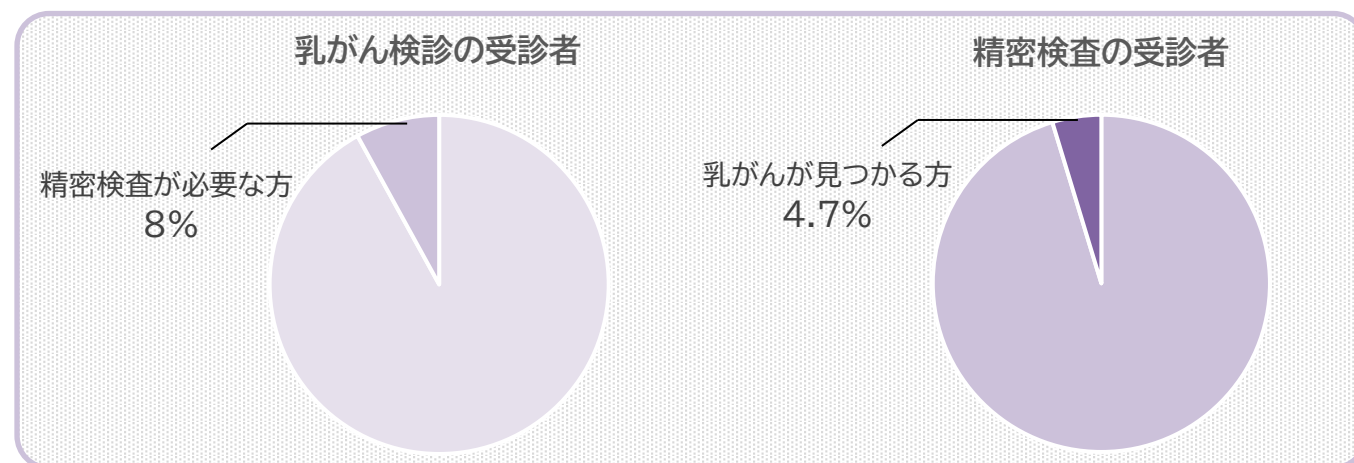
乳がん検診の結果を受けたら、どうしたらよいのでしょうか？

乳がん検診は以下のカテゴリー分類に分けて結果が出て通知されます。

カテゴリー1	異常なし	😊	がん検診の結果としては「がん」はありません。
カテゴリー2	良性	😊	次回検診時まで特に <u>再検査や精密検査の必要はありません。</u>
カテゴリー3	良性 しかし悪性を否定できず	😊	良性の可能性が極めて高いのですが、完全に「がん」ではないとは言えないということです。 対策としては <u>一年以内の再検査が推奨されています。</u> 追加の検査、たとえばマンモグラフィーによる結果であれば乳腺超音波検査を追加するなどを考えてほしいという結果です。
カテゴリー4	悪性の疑い	😞	精密検査が必要であるとの判定です。 できるだけ早く、 <u>乳がん専門医のいる医療機関を受診して精密検査を受けてください。</u> 追加の乳腺超音波検査や生検（細い針を使って病変の組織を採取し、がんの有無を確認すること）などが必要になることがあります。
カテゴリー5	悪性	😞	

実際にどの程度の方に「乳がん」が見つかるのでしょうか？

精密検査が必要であるとされた方々のうち、どのくらいの方が本当に「乳がん」であったのでしょうか？
東京都福祉保健局の平成 29 年度のデータによりますと、乳がん検診の受診者のなかで精密検査が必要と判定される方は約 8%、さらに精密検査によって乳がんの診断が確定するのは精密検査を受けた方のうちの約 4.7%となっています。



この数値は非常に低いように思われるかもしれませんが、乳がん検診はこの少ない「乳がん」の方をなんとか拾い上げるために実施されているものです。
したがって、精密検査判定を受けたとしても驚かれずにしっかりした検査をすみやかに受けていただくことが大切であると考えていただきたいと思います。



乳がん検診は女性にとってとても大事な検診です。無用に恐れることなく、安心して検診を受けていただくことの一助にこのパンフレットがお役に立てば幸いです。



新しいCT検査装置が導入されました！

放射線科

昨年よりマンモグラフィー装置、骨密度検査装置、CT 検査装置が新しくなり稼働を開始しています。今回は新しくなった CT 検査装置についてご紹介したいと思います。



本館 1 階に新しく導入された CT 検査装置は、GE 社製の最新鋭マルチスライス CT です。身体のような部位を詳細に撮影することができ、従来の装置に比べて短時間で撮影を行うことができます。最新の CT 撮影技術（Dual Energy 撮影、Garnet 検出器）が搭載されており、検査の種類によりますが、画質を維持したまま従来の装置よりも少ない造影剤量・低被ばく線量で検査を受けることができます。



救急棟1階の CT

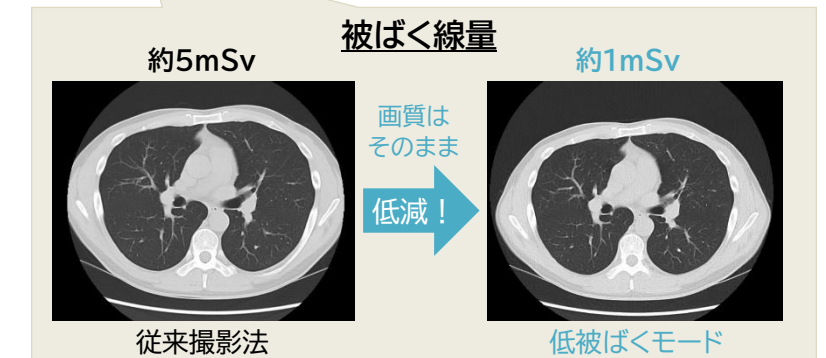
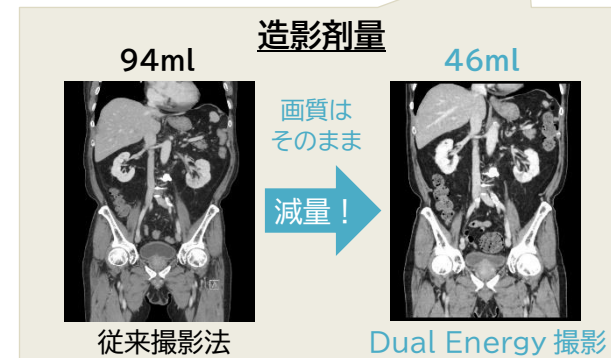
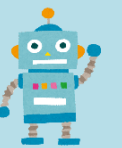


本館1階の CT

レボリューション フロンティア
『Revolution Frontier』
(GE 社製マルチスライス DE-CT)

従来の CT 検査装置よりも...

- ◎ 短時間で撮影が可能！
- ◎ 少ない造影剤量！
- ◎ 低被ばく線量！

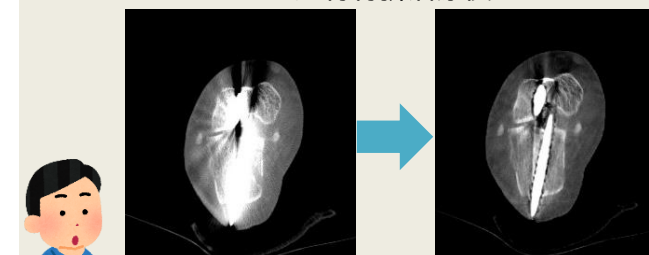


デュアルエネルギー Dual Energy撮影とは？

2種類の異なるエネルギーのX線を使ってCT撮影をする技術です。2種類のエネルギーのX線のデータがあると、従来のCT撮影ではできなかった様々な撮影ができるようになります。

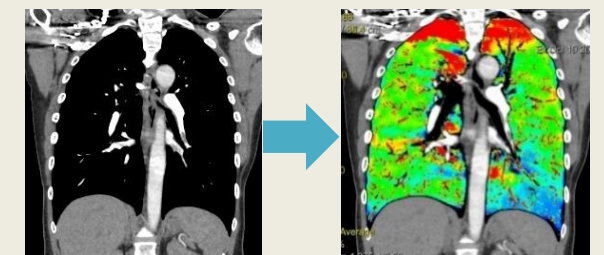
金属の影響を受けない画像

踵骨骨折治療後



肺動脈血栓症の梗塞範囲の評価

肺動脈血栓症



※ 待ち時間や検査内容等により従来の機種で撮影する方が良い場合もあります。詳しくは主治医にご相談ください。